

こやまだい
柏市 小山台遺跡(31)

小山台遺跡は、これまでに30地点以上の調査が行われています。今回紹介するのは、31地点目の調査です。今回の調査では、2,000㎡足らずの範囲の中から縄文時代中期の竪穴住居跡30軒、小竪穴105基、土坑73基が見つかりました。これらの遺構は複雑に重なり合うものが多く、遺構密度が高い地点のひとつです。

このような竪穴住居跡や小竪穴の集中地点とも呼べる場所が、小山台遺跡全体ではいくつか所在するようです。細かな検討をしないといけません。それらには当然、時期に差があり、集落の単位や展開の推移について興味が募るばかりです。また、やはり縄文時代中期を主体とする環状集落で、多数の竪穴住居跡や土坑が見つかる大松遺跡とは谷を挟んで向かい合っており、この遺跡との関係も今後の調査によって明らかになっていくことでしょう。

小山台遺跡の発掘調査は、地点を移しながらさらに続いています。



密集する小竪穴群



重なり合う遺構



土器の実測



調査の様子



小竪穴の土器 1



小竪穴の土器 2

